

4月21日(土)、22日(日)に冬季休業からのオープンイベントとして、「ヤリイカ味覚まつり」が道の駅こどもりで開催されました。オープン時間から多くの人々が訪れました。

オープンセレモニーでは濱館町長からの挨拶の中でご当地グルメ第4弾の予告があり、その後にこども園こどもの園児たちがダンスでまつりを盛り上げてくれました。観客からはアンコールもあり、大盛況でイベントはスタートしました。セレモニーの後には、各ブースのオープン時間に合わせて行列ができる様子も多く見られ、駐車場が満車になる時間帯もあり大盛況でした。特に地元産の新鮮な海産物は大人気で、ヤリイカ釣りは子どもも大人も声をあげて楽しんでいた様子が印象的でした。

また、冬季閉鎖されていた竜泊ラインも開通し、ドライブやツーリングの道中で立ち寄る人も見られました。桜前線より先に、バイクのエンジン音でも春の訪れを感じられたのは雪国ならではの季節感かもしれません。バイクでも車でも無理な運転はせずに、竜泊ラインを走行する際には、道の駅こどもりで一休みしてはいかがでしょうか。



また、同日に小泊海岸を守る会(齋勝建設(株)、宝森建設工業(株)、島村工業(株)、(株)竹内組、(株)青南商事、(株)環境工学)が、マリパーク、折腰内海岸、冬季閉鎖が解除された竜泊ラインなどをボランティア清掃しました。

波で打ち寄せられたゴミや、風で飛ばされたゴミを回収し、分別してから廃棄してくれました。作業後は、濱館町長から感謝状が6社に渡されました。



「中泊メバル料理グランプリ」6月17日開催 準備着々、試食会開催

中泊町の名産品メバルをPRするイベント「中泊メバル料理グランプリ」の前に、試食会が4月23日に日本海漁火センターで開催されました。ヒロ中田さん(リクルートライフスタイルエグゼクティブプロデューサー)と濱館町長が10品目の料理を試食しました。料理人が自分たちでつくった料理をテーブルへ運び、料理の工夫やポイントなどを簡単に説明してから、ヒロさんと町長が試食し、感想を伝えていました。テーブルにはそば、カレー、ハンバーガー、焼きそばなど、様々な料理が並び、グランプリ当日が楽しみな出来映えでした。



中泊メバル料理グランプリは、6月17日(日)に中泊町役場の駐車場で開催します。詳細については、次号の6月号に掲載予定です。

